



西成特区構想 2014年2月3日（月）  
『観光振興・地域資源活用専門部会』

# 基調講演 観光振興部会について

阪南大学国際観光学部  
松村嘉久



## 2013年の状況変化について



図 OIG加盟8軒の国際ゲストハウスの外国人のべ宿泊者数

## 2013年の状況変化について

- 外国人宿泊者の動向：94,426泊から122,024泊＋ $\alpha$ 
  - 太子地区で客室稼働率90%超過のホテル続出
  - タイ・マレーシアからの旅行者の増加：アジア発観光ビッパンの確かな手応え
    - ・ 予約の早いアジア系グループ、予約の遅い欧米系バックパッカー
  - あふれて萩之茶屋地区へ流れる外国人宿泊者
    - ・ 生活保護3割、日雇い労働者3割、観光客3割（外国人1割）的情况
- ➡ 最も理想的な形で推移： $+\alpha$ の存在
- 2020年東京オリンピック開催決定の影響
  - 建設労働者不足から現役労働者は東京へ移る
  - 西成に宿泊して、東京オリンピック観戦へ行く需要
- 生活保護の動向
  - 2000年頃から65歳以上が...現在は79歳以上
  - 確実な自然減と社会増への厳しいまなざし
- ➡ 簡宿を支えてきた**3本柱の地殻変動**が発生しつつある

## 観光振興部会の主な議題

- 屋台村構想
  - バスターミナル構想
  - 商店街の活用と活性化
  - 簡易宿所の活用と活性化
  - アートプロジェクト
  - （多言語）案内板の設置
- ➡ 高度成長期に交流人口で市街地が成り立っていた「あいりん地域」の先進性
- ➡ 人口減社会へ突入した日本社会のひとつモデル
- ➡ 「新しい交流人口」を増やすため、地域との親和性を持った新たな戦略と仕組みが不可欠

## 観光振興部会の主な議題 1

- 屋台村構想△：継続調査
  - － 道路交通法と責任問題の壁
  - － 先進事例から学ぶ必要性の確認
    - ・ 屋台の民主的な自治組織とマネジメント方法
    - ・ わざわざ他所から来たくなるような屋台街の創出方法
  - － 人口減社会到来で広幅員道路の利活用需要は急転
- バスターミナル構想×：実現可能性を追求
  - － OCATバスターミナルの存在と鉄道会社の思惑
    - ・ 外国人利用者目線を意識した大阪市レベルの改革の必要性
    - ・ 日本人にも外国人にも利用し難い長距離バス
  - － 新世界・阿倍野も視野に西成特区の具体的な需要を見極め、道路の一部を多目的活用する可能性の確認
    - ・ ツアーバス、観光バス、路線バスの乗降・待機場所
    - ・ 多目的活用で屋台村構想とも関連

## 観光振興部会の主な議題 2

- 商店街の活用と活性化○
  - － 空き店舗の確保から公募形式で出店誘致
  - － 成功事例をつくってさらなる出店の促進
- 簡宿の活用と活性化○
  - － 『大阪市旅館業の施設の構造設備の基準に関する条例』（2008年5月改正）第5条(1)の「定員1名の客室を設ける場合には、その客室の延べ面積は総客室の延べ面積の2分の1未満であること」の見直し要求
  - － 簡宿⇒福祉マンション⇒簡宿への再転用の認可
  - － やる気のある活性化できる簡宿の背中を押すための助成金の創出

➡ 2013年の状況から**絶好のチャンス**



### 観光振興部会の主な議題 3

- **アートプロジェクト**
  - ー 西成アート回廊プロジェクト
    - ・ 萩之茶屋小学校西側の南海電鉄高架壁面および高架下ほか、西成区各所の壁面やシャッター（私有地）にアートを描き回廊をつくる
    - ・ 地域とアーティストが対話して夢を独自の手法で描く
  - ー 落書きではなくプロフェッショナルな芸術
  - ー 通学路のライトアップや監視カメラ設置の促進
  - ー アートを見に来る人たちとその存在の重要性
- **案内板の設置**
  - ー 太子交差点東北角、今宮工科高校や新今宮地区観光まちづくり推進協議会ほか、産官学協働で地域案内板設置
  - ー 地下鉄動物園前駅1番出口のスペースに新しい案内板計画

